

令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立広南中学校
(広南中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	-	-
令和7年度	+16.7	+8.7
令和6年度	-0.1	+0.5
令和5年度	+13.2	+3.0
令和4年度	+3.0	-1.4

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 71.0% 全国 54.3% 県 55.0%</p>	<p>重点課題</p> <p>◎読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。(設問4二)(平均正答率36.4%)</p> <p>◎文章の中で、表現の効果については理解しているが、それが文章の内容を伝えたり印象付けたりする上でどのように働いているか、根拠を明確にして考えることに課題がある。(設問3一)【読むこと】(平均正答率72.7%)</p> <p>◇よりわかりやすい文章になるように、表現の工夫や、根拠を明らかにして書くことに課題がある。</p>
	<p>改善の方策</p> <p>◎書いた文章を読み返す必然性がある言語活動を設定し、伝えようとするものが伝わるように、読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるよう指導する。</p> <p>◎一つの文章を読むだけでなく、複数の文章を比較しながら読む学習活動の中で、注目する部分を絞り込んだ上で、それらの特徴が文章全体の特徴にどのように関わっているのかを考え交流させる。</p> <p>◇三角ロジック等を活用し、根拠を明確にししながら自分の考えが伝わる文章を書く活動、書いた文章をお互いに読み合い、推敲する活動を設定する。</p>
	<p>検証</p> <p>◎全国学力(設問4二)の類似問題(全学年, 2月)目標70%→60%</p> <p>◎◇全国学力(設問3一)の類似問題(第2~3学年, 2月)目標85%→76%</p>
<p>数学</p> <p>本校 57.0% 全国 48.3% 県 47.0%</p>	<p>重点課題</p> <p>◎「素数」や「外角」などの数学の用語の意味(定義)を正しく理解し、その定義をもとに、適切に計算したり表現したりすることに課題がある。(設問1)【数と式】(平均正答率9.1%)(設問3)【図形】(平均正答率54.5%)</p> <p>◎証明された事実をもとにして、辺や角についての関係を新たに見いだすことに課題がある。(設問9(1))【図形】(平均正答率63.6%)</p> <p>◇文章や図、データから適切に情報を取り出し、適切に計算したり表現したりすることに課題がある。</p>
	<p>改善の方策</p> <p>◎知識の定着を図るために、小テストで既習事項を出題する。また授業で、既習事項の定義を再確認する。</p> <p>◎証明を読む活動を取り入れる。証明を読むことで、証明を評価・改善したり、証明をもとに発展的に考えたりする力を身につけさせる。</p> <p>◇数量の関係に関わる学習課題を通して、数学の用語や図を用いて数学的に表現できるようにする。</p>
	<p>検証</p> <p>◎◇全国学力(設問1)の類似問題(全学年, 2月)目標40%→54%</p> <p>◎◇全国学力(設問3)の類似問題(第2~3学年, 2月)目標60%→85%</p> <p>◎全国学力(設問9(1))の類似問題(第2~3学年, 2月)目標70%→54%</p>

【来年度に向けて】

国語：書いた文章を推敲する場面を意図的に設定し、語句の選択、文と文との関係、段落構成などに着目して見直す指導を行う。また、相互に文章を読み合い助言し合う活動を通して、読み手を意識しながら表現を工夫する態度を育成する。さらに、表現の効果については、文章の内容を伝え印象付ける上で表現がどのように働いているのかを、根拠を明確にして考える学習活動の充実を図る。

数学：証明の書き方や問題の解き方を比較する場面を設定し、根拠を示して論理的に考察し、伝えるべき情報を取捨選択する力を身に付けさせる。章末の授業では、学習内容をレポートにまとめ、小テストを実施することにより、既習事項の定着を図る。